

2023 年度特定非営利活動に関わる事業報告書

事業の成果

(1) 定例勉強会 各教室参加状況 (スタッフ数は今年度教室参加者のみ)

	教室名	開催回数	スタッフ	生徒	学生 スタッフ	対象生徒
定例	火曜教室	42 回	9 名	10 名		小学生
	土曜午前教室	38 回	9 名	9 名		小学生
	木曜教室	40 回	9 名	12 名	1 名	中学生
	文化ホール教室	39 回	23 名	20 名	2 名	小学生・中学生・高校生
	新松戸教室	40 回	15 名	12 名		小学生・中学生
随時	オンライン授業	170 回	3 名	3 名		中学生 (定例生徒重複)

参加生徒内訳 (総計 63 名)

小学生	小 1-3 名	小 2-5 名	小 3-4 名	小 4-4 名	小 5-1 名	小 6-4 名
中学生	中 1-12 名	中 2-15 名	中 3-11 名			
高校生・既卒	高 1-3 名	高 2-1 名	高 3-0 名	既卒-0 名	(高校生基本 1 学期のみ)	

(2) 集中勉強会

		開催回数	スタッフ	生徒	学生スタッフ	期間
夏休み教室	小学生	5 回	4 名	18 名	12 名	7/25~7/29
	中学生	5 回	4 名	18 名	13 名	7/25~7/29
	中学生	3 回	8 名	8 名		8/21・22・25
受験教室	中学生 既卒生	23 回	29 名	15 名	1 名	2023/10/1 ~2024/2/18
		国語 12 回・ 英語・数学各 11 回				

《本年度高校進学先》

千葉県立流山北高校・千葉県立行徳高校・千葉県立流山おおたかの森高校・
 千葉県立松戸南高校（午前）・千葉県立松戸南高校（午後）・千葉県立松戸南高校（夜間）
 千葉県立鎌ヶ谷西高校・千葉県立市川工業高校（定時制）・柏市立柏高校・
 東京都立南葛飾高校・私立東京学館船橋高校・私立光映ベリタス高校・
 私立西武台千葉高校・私立秀明八千代高校・松戸市立第一中学校みらい分校

(3) 常盤平土曜午後教室開設

夏休み終了後に多くの入会希望者があったが受け入れ可能な教室が無かったため
 常盤平教室の土曜日午後に新たな小学生教室を開設することにした。
 在籍スタッフ3名に新規スタッフ6名で始めたが、今新たに3名が参加している。

期間	開催回数	スタッフ	生徒	
2023年9/30スタート	21回	12名	9名	小1-1名、小2-1名 小3-0名、小4-4名 小5-1名、小6-2名

(4) 広報活動

会報『かけはし』	30号 '23年4/15発行 ・ 31号 '23年9/2発行 ・ 32号 '23年12/15発行
ホームページ・ フェイスブックなど	各行事、教室状況、会報、順次更新 QRコードからもアクセスできるようになっているので、HPをみて入会の問合せも増えている。

(5) 交流事業

	開催日	場所	スタッフ参加	他参加
先輩と話そう会	2023/9/16	ゆうまつど	16名	卒業生8名・在籍生6名
松戸市国際文化祭	2023/10/21	市民会館	4名	ブースを訪れた人63名超
おやこ会	2023/12/2	常盤平 市民センター	18名	生徒33名・保護者22名
スタッフ交流会	2024/3/16	イタリアン SPIGA	28名	
みらいフェスタ	2024/3/23	市民活動サポ ートセンター	3名	ブースを訪れた人105名
バスハイク	2024/3/27	明治ファクトリ 筑波宇宙センタ	16名	生徒29名・保護者6名

(6) 外部講習会等への参加

月日	課題	主催
2023年5/23	第2回千葉県に住む外国籍の子どもたちの現状を知り、必要な支援の活動に結び付けるための勉強会	生活クラブ風の村
2023年7/18	第3回千葉県に住む外国籍の子どもたちの現状を知り必要な支援の活動に結び付けるための勉強会	生活クラブ風の村
2023年9/26	第4回千葉県に住む外国籍の子どもたちの現状を知り、必要な支援の活動に結び付けるための勉強会	生活クラブ風の村
2023年9/30	古着でオリジナルフラッグづくり	松戸市政策推進課
2023年10/6	第1回松戸市日本語教育推進連絡会議	松戸市教育委員会 教育政策研究課
2023年10/27	松戸市多文化共生ワークショップ in 新松戸	松戸市国際推進課
2023年11/12	第2回ちば多文化共生地域円卓会議	NPO 法人多文化フ リースクールちば
2023年12/8	第5回千葉県に住む外国籍の子どもたちの現状を知り、必要な支援の活動に結び付けるための勉強会	生活クラブ風の村
2024年2/2	第2回松戸市日本語教育推進連絡会議	松戸市教育委員会 教育政策研究課
2024年2/17	古着でオリジナルフラッグづくり	松戸市政策推進課
2024年2/17	松戸市内の学生によるまつどSDGsフォーラム	松戸市政策推進課

(7) 2023 年度松戸市協働事業の実施〔協働事業担当課：国際推進課〕

【事業名：日本語を母国語としない子どものための学習支援事業】

協働事業も 2 年目を迎え引き続き外国をルーツとする子どもの学習面及び生活面を支援するとともに、地域の人々に日本語を母国語としない子どもに対する理解を促す活動に取り組んだ。

1 一定例勉強会の受け入れ生徒数を増やす

新規入会を希望する生徒が急増したため、既存の教室では追いつかない状況が生じたが、新たなスタッフ希望者の参加を得て受け入れ体制を整え、常盤平教室の土曜日午後に小学生教室を開設した。

2 初級クラスの導入

2022 年度に初級クラスを半年試行した。しかし〈適切な教材〉〈どう教えるか〉〈初級クラスの到達目標をどこに設定するか〉など多くの課題もみえた。よって今年度は来日した子どもに対し日本語初期指導を組織的に行っている団体へのアンケート調査や授業現場の見学、研修会の開催などを行い今後の活動に役立てていくこととした。

日付	項目	参加人数
5 月 1 日	日本語初級教育を実施している 4 自治体と 1 団体へのアンケート調査実施	横浜市・葛飾区・新宿区・墨田区・中野国際交流協会
11 月 20 日	研修会「日本語の初期指導について」	24 名
2 月 5, 8, 9 日	YSC グローバルスクールオンライン授業体験	8 名
2 月 6 日	中野区国際交流協会日本語教室見学	5 名 (国際推進課 1 名含)
2 月 14 日	YSC グローバルスクールあだち竹ノ塚教室授業見学	2 名

*YSC グローバルスクール；

NPO 法人青少年自立援助センターが運営する海外にルーツを持つ子どもと若者のための専門的教育支援事業

3 オンライン授業の導入

- ・これまで進めてきた教材の集約化を継続しつつ利用方法をスタッフおよび生徒に説明を行う。
- ・教室での対面に近い形でのオンライン学習の実例をもとにスタッフへの勉強会を行う。
- ・スタッフを対象にした調査結果からは、実際に導入しているケースは 3 名と少ないのが実情。
- ・生徒のオンライン学習参加への機運を高め、希望する生徒の把握に努めていくことが必要。

4－集中勉強会及び交流会の担い手を増やす

大学生が企画運営する夏休み教室を実施

『この夏、松戸から世界をみてみないか?』—学生ボランティア大募集— のチラシを作成

参加大学 10 校 学生 25 名			
神田外語大学	聖徳大学	江戸川大学	Orange Coast College
千葉商科大学	和洋女子大学	東京国際大学	Temple University Japan
立教大学	早稲田外語専門学校		
参加生徒 36 名			
小学生 18 名		中学生 18 名	
教室生徒 4 名	外部生徒 14 名	教室生徒 15 名	外部生徒 3 名
〈出身国 11 カ国〉			
中国、フィリピン、ネパール、カナダ、パキスタン、タイ、インドネシア、			
アフガニスタン、アメリカ、スリランカ、ナイジェリア			

5 日間の教室で夏休みの宿題をやることを第 1 目標としたが学生の企画も多々あり、小学生は「割れないシャボン玉作り」「福笑い」「ドッジボール」など、中学生は「バター作り」「縁日」などを学生と共にやり楽しい交流の時間をすごした。

「年の近い大学生が担い手になることで、生徒達が様々な大人像を見、将来の選択肢を考えるきっかけを創出する」また学生達には「多文化共生の理解、日本語を母国語としない子ども達の存在、さらに当勉強会の活動内容の理解を深める機会にする」という企画の主旨は概ね達成されたのではないか。

5－地域との協働

常盤平団地において常盤平団地自治会と連携し団地自治会館での出張授業を当初検討したが、現在の自治会では子供会が機能しておらず、同地区で活動する子ども食堂「まんぷく小屋」とも連携する方針に修正した。

まんぷく小屋・団地自治会と子どもの居場所づくりの設置に努めてきたが、流通経済大学が事業の一環として団地内に活動施設を確保した機会をとらえ、大学の協力を得てそこを子どもの居場所として開設した（週 1 回、児童館が休業となる月曜日に開所）。

そのなかで、外国人の子どもに対し日本語学習の場としていくことを模索している。